



Quartu S. Elena 15.09.2004

TRADITIONAL FOLK DANCE  
OF JAPAN SOCIETY  
INTERNATIONAL CHRISTIAN  
UNIVERSITY  
4-7-12 MOMOI, SUGINAMI-KU  
TOKYO 167-0034  
JAPAN

All'att.ne del

Sig. Ugo Crisponi

sardegna@japanconsulting.it

**題目: 民俗舞踊研究会宛、2005年7月9日からイタリアで開催されるフェスティバルへの正式な招待状**

この度は、イタリアで開催される下記のフェスティバルへのご参加の件、民俗舞踊研究会（国際基督教大学日本民俗舞踊部、日本養生学会）の皆様を正式にご招待できますことを喜ばしく思っております。

- 1) 2005年7月9日～13日、クアルトゥのフェスティバル (サルデーニャ南部)
- 2) 2005年7月14日～19日、テンピオのフェスティバル (サルデーニャ北部)

**[ 入国 ]** 参加グループは、7月7日にローマへ到着して下さい。ローマからサルデーニャまでは私共のガイドがご案内致します。

**[ 出国 ]** ローマからの出発は7月22日となります。

各フェスティバルでは下記の内容が保証されています。

- 30名分の食事と宿泊施設 (学校施設又はホテル)
- 1人当たり1日3ユーロの小額寄付金
- 各主催団体の正式プログラムに従ったフェスティバル開催期間中のイタリア国内における交通手段
- フェスティバル開催期間中の標準的な医療補助

参加グループは下記の内容を必ず行なってください。

- 「標準的でない」リスク(入院、手術、緊急帰国、等)をカバーできる保険に加入すること。
- 電子器具を使わずに生演奏音楽で出演すること。録音された音楽の使用はできません。
- 国旗を持参すること。
- 「正式プログラム」を厳守すること

**旅費にかかる全費用(ローマ到着までとその帰路)及び、パスポート取得費用、滞在許可証取得費用等の必要書類にかかる全費用は参加グループ負担でお願いいたします。**

2004年11月30日までに正式に参加承諾の旨をご連絡ください。

参加者(30名)のリスト(氏名、生年月日、パスポート番号)を2005年2月28日までにご連絡ください。

それでは、期日までにご連絡いただけますようお願いしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ジャンニ・オッル  
Coordinatore  
Cioff Italia

CIOFF、Conseil International des Organisations de Festivals de Folklore et

d'Arts Traditionnels は私たちの方で「国際伝統民俗芸術フェスティバル協議会」と訳したのですが、これは日本語に正式に訳すとなんという名前ですか？

CIOFF の正式日本語名称は私の方で調べた限りでは(インターネットで)、国際民族芸能組織委員会と一般的に呼ばれているみたいです。「みんぞく」の漢字が「民俗」の方が適当だと思いますが、インターネットで検索すると「民族」となっていました。また、CIOFF の日本支部もあり、CIOFF JAPAN とか国際民族芸能組織委員会・日本支部と呼ばれているようです。

・CIOFF はどういった団体ですか？

<http://www.cioff.org/> のサイトに簡単な説明が英語で書かれていますので参考になさってください。

#### CIOFF の主な設立目的

- ・平和を守り、世界の人々との友情を固くすること
- ・国際理解促進、各国民の文化と伝統を尊重し正當に評価すること
- ・民俗芸能の分野におけるユネスコの方針に従って民俗の文化と伝統を保存、普及させること

#### CIOFF ITALIA の主な活動内容

- ・好条件でイベント及び宿泊施設を提供しながら、海外の民俗団体との交流を実現させるために CIOFF 加盟国を援助すること
- ・フェスティバル同様、民俗伝統に関する勉強会、学術会議、出版物発行を促進し、支援すること
- ・CIOFF 加盟国の各国支部との国際交流
- ・CIOFF 後援によって世界各国で開催される約 300 の民俗国際フェスティバルに関する CIOFF フェスティバルのカレンダー作成(毎年)に協力すること
- ・毎年イタリア国内会議を挙行政し、CIOFF の世界会議(毎年)ヘイタリア代表団を派遣すること
- ・民俗分野で活動している様々な組織、法人、団体と協力すること

最初の週のクアルトゥで開催されるフェスティバルの様子は下記のホームページで写真を見ることができますので、様子がわかるかと思ひます。

15、16、17・・・とメニューがありますが、これは開催日を指していますので、それぞれをクリックするとその日の写真を見ることができます。

前にも触れていると思ひますが、このフェスティバルは毎年行なわれています。

<http://www.quartuvirtuale.it/specialesciampitta/galleria.htm>

フェスティバルの雰囲気としては、それほど緊張しないで大丈夫だと思ひます。

・日程について

そうです。

それと今回のフェスティバルは一週間目と2週間目で場所が分かっているようですが、今回日本から参加する私たちの団体の中ですでに就職している者がいるのですが仕事の都合で二週間の休暇を取れず最初の一週間または次の一週間またはそのどちらかにまたがって数日間しか時間をとれず本フェスティバルに部分的にし

か参加できない者が何名かいそうなのですが(例えば7/10～7/15、または7/14～7/19などの日程でフェスティバルに参加)、その者たちはフェスティバルに途中参加や途中帰国などの形で参加できますか？  
またその者たちは個別に移動して遅れてサルデーニャ島に到着、フェスティバル期間中に帰国などするはずですが、その場合個別移動している間、彼らのローマからサルデーニャ島への移動費などは他のフェスティバル参加者と同じように保証されますか？

参加者の休暇日程の都合でフェスティバルに途中からあるいは途中まで参加することは可能ですが、その場合の移動費は各自負担になります。

フェスティバル側で保証しているローマ・サルデーニャ間の移動費は、団体でバス一台とカリアリ・ローマ間のフェリー往復という形式なので別行動をされる場合には、各自となります。

また、第2週目のフェスティバルのみに参加される方がいらっしゃるとしたら、その場合は、カリアリに到着するよりはオルビア(OLBIA)の空港に到着された方がいいです。

オルビアからの場合、バスやタクシーでフェスティバル会場まで各自で行くこと、場合によっては迎えに行くことも考えられると思います。

またそれが可能でありました場合途中で人数が変更してしまうことになるのですが(例えば7月9日～13日は30名、7月14日～19日は25名など)それは大丈夫ですか？

指定人数をオーバーしない限り、前もって連絡しておけば問題ないと思います。

・フェスティバル参加人数について

30人とありましたが、30名というのは決まった数なのですか？それともある程度幅をもたせて決められたものですか？

例えば人数が30名を若干超えてしまった場合、その超過人数についての移動費や食費などは保証されますか？

参加人数については、以前にも横澤喜久子、近藤先生にはご案内させていただきましたが、このフェスティバルに参加するために参加人数制限がありまして、それをご相談した結果、クアルトゥのフェスティバル30名、テンピオのフェスティバル20名以上30名以下に決定しました。ですから、30名を超えることはできません。やむ負えない事情でクアルトゥのフェスティバルに関してこの30名という人数を下回る場合は、仕方ありませんが、人数が増える場合は別途

各自で負担頂く事になります。

横澤喜久子には既に提案していますが、国際交流基金などのスポンサーから助成金をもらったりすることができれば、そこにオーバーする人の費用を予算として含めたらいいのではないかと思います。ちなみに、現在この助成金の話は進んでいるのでしょうか？

・ビザは必要ですか？

日本人はイタリアでの滞在が 90 日を越えない場合は、ビザは必要ありません。

・今回のフェスティバルには日本以外にどのような国が何カ国参加するのですか？できればその国名もお教えいただきたく思います。

招待状にもありましたように、11 月中に正式に参加確認のレターを提出する必要があります。

そして 2005 年 2 月中には参加者リスト(氏名、生年月日、パスポート番号、航空券情報)を提出します。

招待状には、航空券情報の依頼については記載されていませんでしたが、私が主催者に会って話しを伺った時には、宿泊施設の手配、迎いのバスの手配等がありますので皆さんのフライト情報(出発時刻、到着時刻、フライトナンバー等)が必要だと言われましたので、この情報も 2 月中に他の情報と一緒に提出してください。